

# 日刊 建設工業新聞

1月15日

木曜日

・第18620号

2015年1月15日 3面

## 2015展望

建設コンサルタント



震災復興関連業務などにより、受注高はここ数年で150億円まで底上げされている。街づくり業務で当社を優先的に考

オオバ

辻本 茂社長

### 事業領域拡大へ種まき続ける

えてくれる民間企業も多  
い。「街づくりのオオバ」  
というブランドを大切に  
しながら、一般的な建設  
コンサルタントとは一線  
を画し、当社の存在を市  
場により浸透させたいと  
考えている。

今後の事業拡大を見据  
え、Jリーグ・F.C東京の  
え、Jリーグ・F.C東京の  
や、自ら投資してより高  
遊休資産を活用するため  
の収益を得る事業にも積  
極的に取り組む。  
土地が動くところにコ  
ンサルタント業務は発生  
し、活躍の場が得られる  
財務省関東財務局から受  
託している未利用国有地  
の管理業務を足掛かり  
に、自治体や民間に対し  
て思ってきた。ビジネスチ  
ャンスを自ら掘り起こす  
努力が必要だ。震災復興  
が収束に向かい、市場環  
が収束に向かい、市場環  
が何よりも大切だ。

事業のバックボーンに  
公共投資があるのは極め  
て恵まれている。だがそ  
れだけでいいのかと常々  
思ってきた。ビジネスチ  
ャンスを自ら掘り起こす  
努力が必要だ。震災復興  
が収束に向かい、市場環  
が何よりも大切だ。

辞さない。

優秀な人材を確保・育  
成するために処遇改善を  
惜しまず、より魅力的な  
職場づくりにも力を入れ  
て思ってきた。ビジネスチ  
ャンスを自ら掘り起こす  
努力が必要だ。震災復興  
が収束に向かい、市場環  
が何よりも大切だ。